TOTO

化粧鏡

LMJ750EH～LMJ1200EH（一面鏡）

商品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1）安全上のご注意

- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
  使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

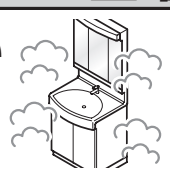
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⃠	⃠は、してはいけない「禁止」内容です	❗	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。

- 取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
  紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

⚠ 警告

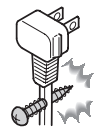
浴室など湿気の多い場所へ設置しない（禁止）
漏電により感電するおそれがあります。



コンセントは化粧鏡の裏面には設置しない（禁止）
化粧鏡が落下する原因になります。また、トラッキングによる火災の原因になります。

⚠ 警告

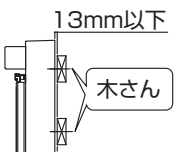
電源コードを傷つけない（禁止）
漏電および火災の原因となります。
特に壁固定の際は気を付けてください。



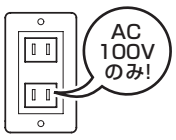
水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者・指定業者」が行う（必ず実行）
火災や感電および水漏れの原因になります。

電源コードを傷つけないようにコード取出用切欠部より取り出す（必ず実行）
電源コードを傷つけたり、壁との間に挟み込むと発熱や発火の原因になります。
電源コードを壁との間に挟み込むと商品にゆがみが発生し、扉のゆがみなど、商品に悪影響を及ぼす原因になります。

壁固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する（必ず実行）
化粧鏡が落下し、けがをするおそれがあります。



電源はAC100Vを使用する（必ず実行）
AC100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。



取り付け後、全てのねじが確実に固定されていること、ゆるみがないことを確認する（必ず実行）
商品が落下し、けがをするおそれがあります。

⚠ 注意

照明カバーは確実に取り付ける（必ず実行）
落下してけがをするおそれがあります。

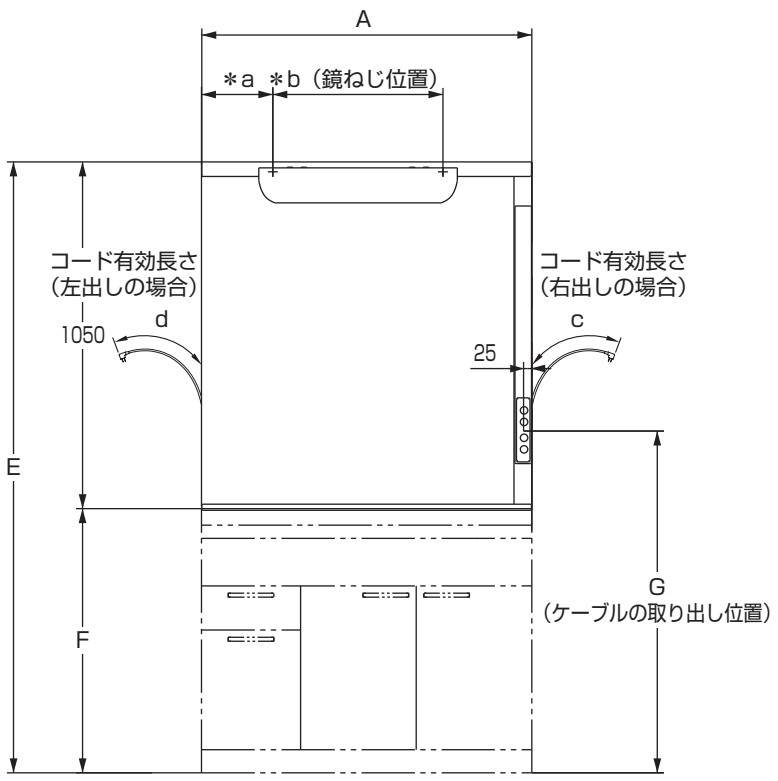
2）設置寸法

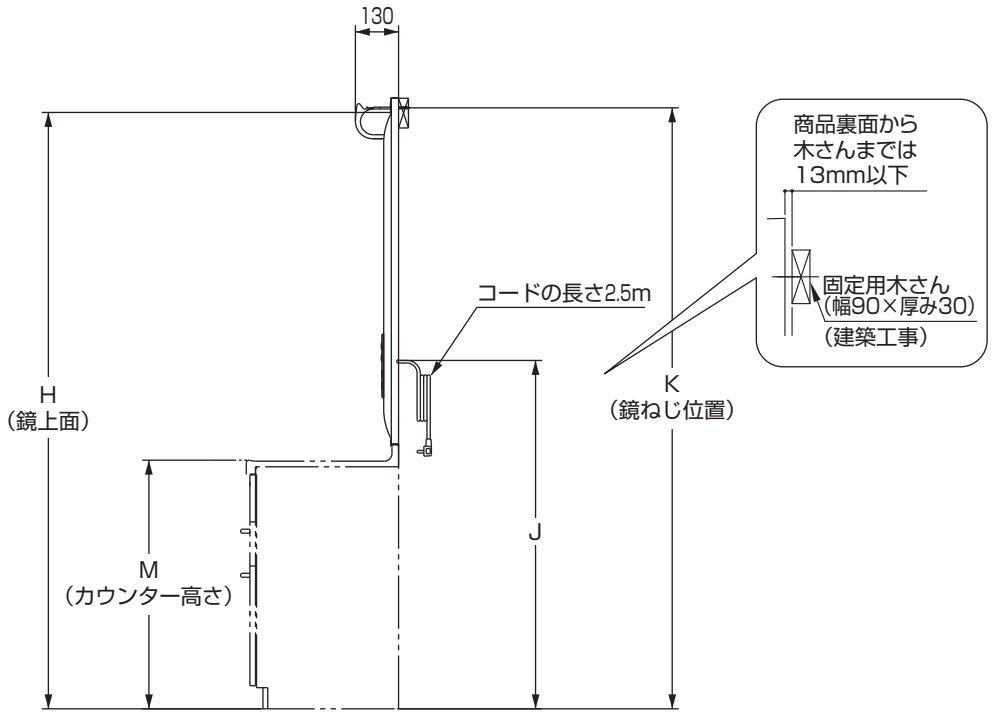
- 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。
- ＊印は壁固定用ねじ位置を示します。

※図はLMJ1000EHを示します。

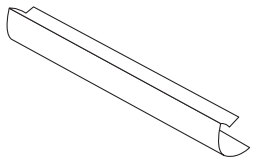
サイズA	a	b	c	d
750	192	315	2400	1850
900	242	365	2400	1700
1000	117	715	2400	1600
1200	217	715	2400	1400

M（カウンター高さ）	E	F	G	H	J	K
700	1800	750	985	1756	1005	1770
750	1850	800	1035	1806	1055	1820
800	1900	850	1085	1856	1105	1870
850	1950	900	1135	1906	1155	1920





3) 付属部品明細

	名　　称		数 量
1	照明カバー		1本
2	壁固定用ねじ（φ4.5×50）		2本
3	取扱説明書		1冊
4	化粧キャップ		2個

4) 設置上のご注意

- 湿気の多い場所では、感電するおそれがありますので設置しないでください。
  特に浴室内には、設置しないでください。
- 取り付けは必ず平滑な壁面としてください。
- コンセントは安全確保のため、化粧鏡の裏面には設置しないでください。
- 鏡の取り出し、取り付けなどは必ず2人で作業してください。
- 鏡を置く場合は、床に必ず緩衝剤（ダンボールなど）を敷いてください。

5) 取り付け条件

- **化粧鏡を取り付ける壁面はクロス貼りなどの仕上げをする**

※三方壁に設置する場合は、商品間口に対して片側5mm以上のクリアランスを確保してください。
更に、ドア枠、額縁、幅木のチリを考慮してから壁仕上げ寸法を決めてください。

⚠ 警告

必ず実行

- **化粧鏡は必ず壁に設置する**（窓の前などに設置できません。）
- **化粧鏡の壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れる**
  （木さんを使用せず、下地材を合板とする場合は、設置壁の全面に厚み12mm以上のJIS規格品の合板を強固に取り付けてください。）（建築工事）

※コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ（引き抜き強度：1,000N以上/本）を打ち込んでおいてください。
プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。
（プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。）

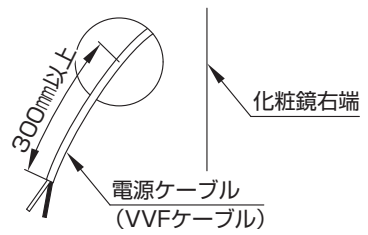
商品が落下し、けがをするおそれがあります。

電気工事

【化粧鏡を直結配線にする場合】

- あらかじめ電気工事業者様にお願いして下図のように電源ケーブルを取り出しておいてください。

※取り出し位置は設置寸法を参照してください。



⚠ 警告

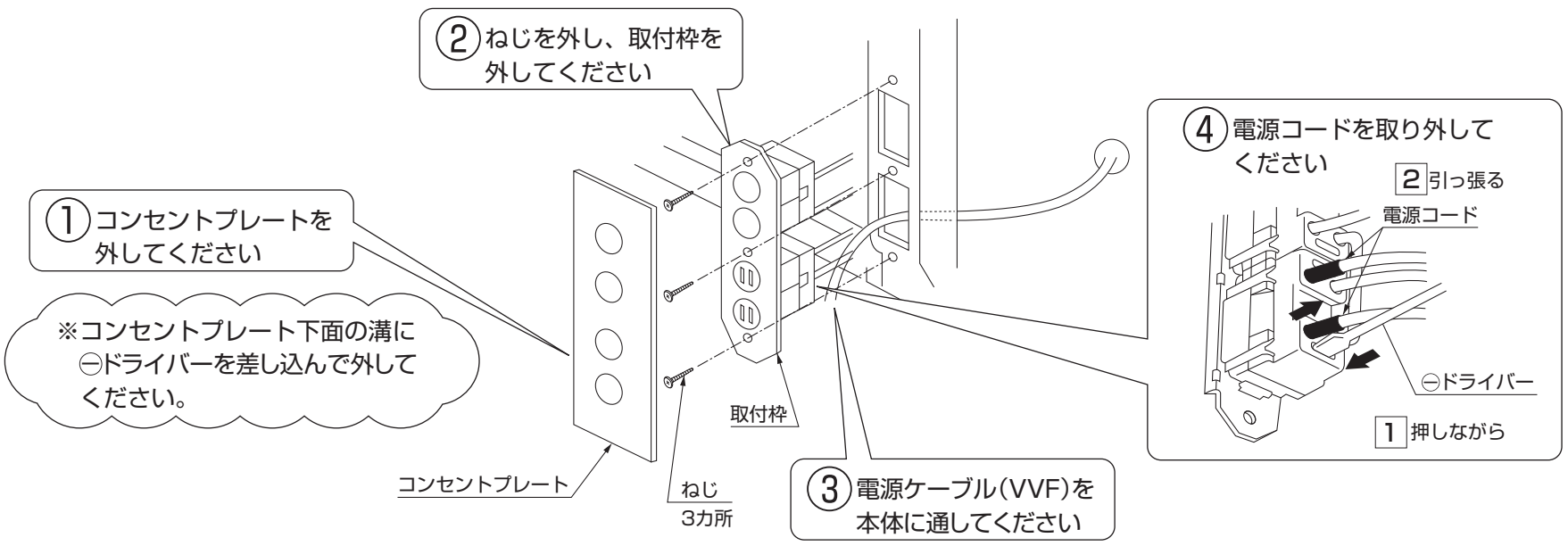
禁 止 **電源コードを切断して、電源ケーブル（VVF）を直接つながない**
発火・火災の原因になります。

必ず実行 **配線する工事は、関連する法令・規定に従って、必ず電気工事士の「有資格者」が行う**
正しく被覆をむかないと、ショート・感電・火災の原因になります。

6) 取り付け手順（番号順に取り付けてください。）

直結配線の場合（化粧鏡取り付け前）

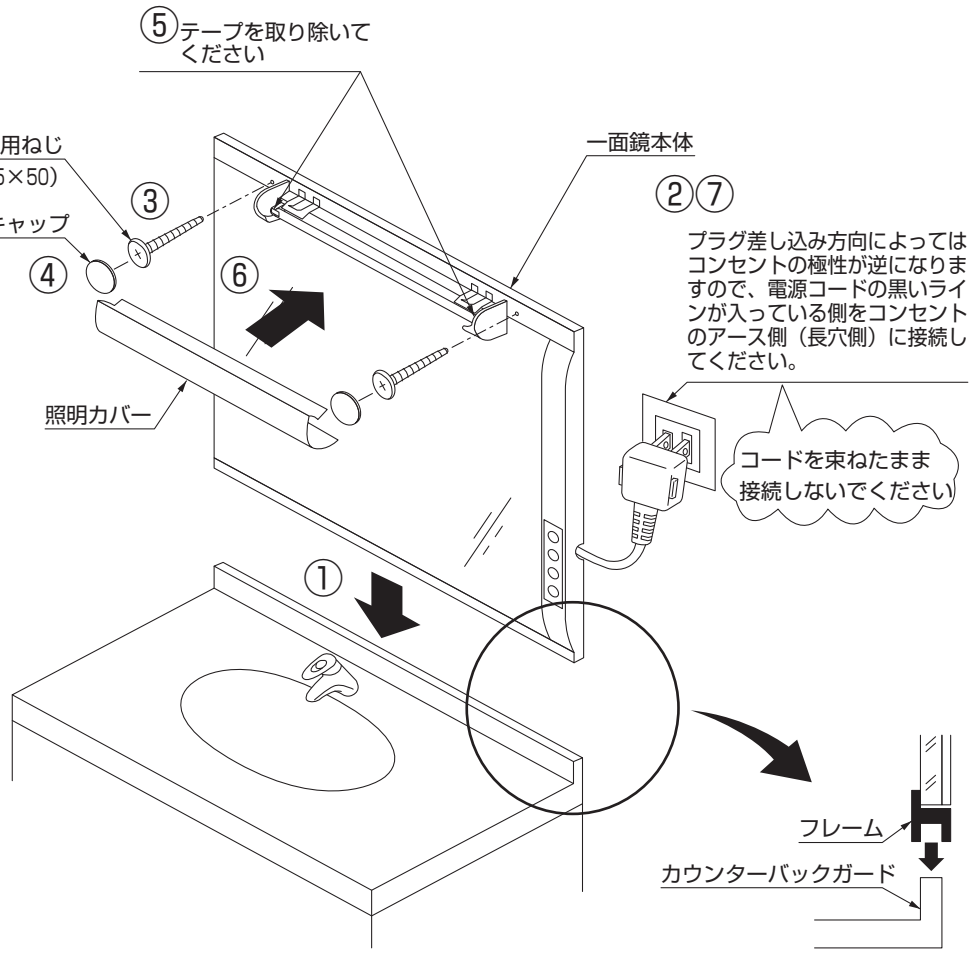
【コンセント部の取り外し】※必ず「有資格者」が行ってください。



裏面に続く

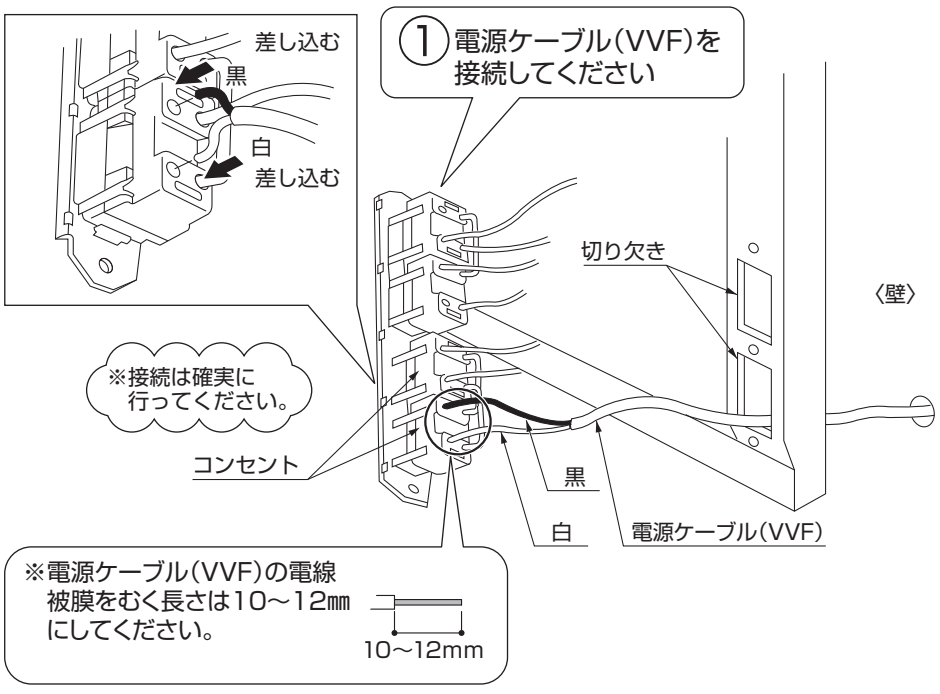
6）取り付け手順（つづき）

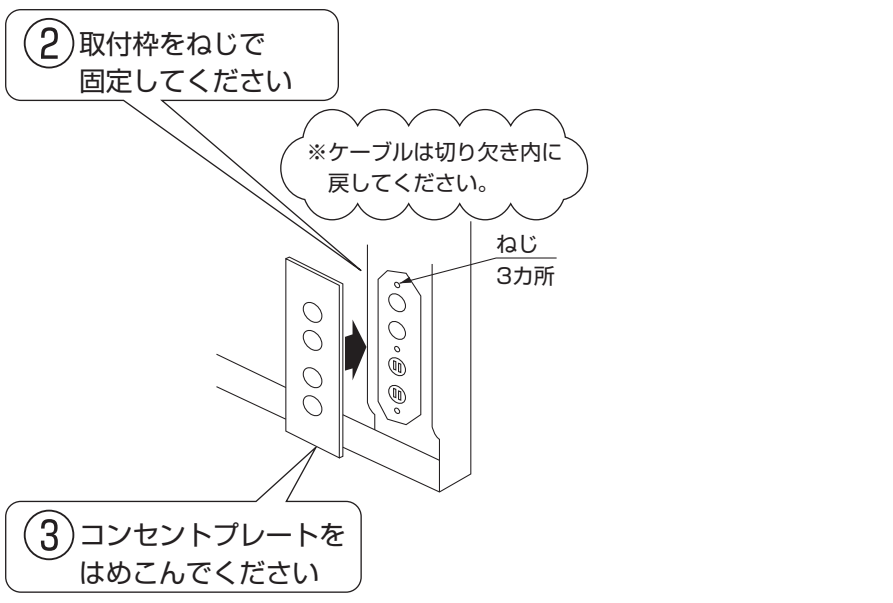
①一面鏡本体下部のフレームをカウンターバックガードの上にのせてください。
②その際、電源コードを本体横の溝から確実に外に出しておいてください。
※裏面で電源コードがたるまないようにしてください。
③壁固定用ねじ2本で所定の位置に壁固定してください。
※壁とのすき間が大きい場合は、化粧鏡の裏面にライナー（現場調達）を入れてください。
④付属の化粧キャップを、2個はめ込んでください。
⑤照明には、外れ防止のためのテープが貼り付けてありますので、必ず取り除いてください。
⑥照明カバーを取り付けてください。
※取り付けかたは照明カバーに付いているラベルを参照してください。
⑦差し込みプラグをコンセントに接続してください。その際コードを束ねたまま接続しないでください。



直結配線の場合（化粧鏡取り付け後）

【コンセント部の取り付け】 ※必ず「有資格者」が行ってください。





7）取り付け完了後の確認と清掃

- 商品が壁に確実に固定されていることを確認してください。
- 照明スイッチを入れて照明が点灯することを確認してください。
- くもり止めヒータースイッチを入れて、スイッチ内のランプが点灯することを確認してください。
  また、ランプが点灯し約2～3分で鏡の表面が温かくなることを確認してください。
- コンセントに、通電することを確認してください。
- 商品に付いた汚れ（プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む）は、ぬれた布をかたくしぼって
  ふき取ってください。
  その後、水を湿らせた布に少量の台所用中性洗剤を付けてふき上げ、最後にからぶきしてください。

重要

※有機溶剤（シンナー・アセトンなど）の使用は表面の変色・変質の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。
- 設置後、長時間使用されない場合は電源プラグを抜いてください。